

右 Radial approach Target は#7。6 Fr ガイドカテーテルで、Pre IVUS 後に、POBA Stent 留置後の最終確認のために、IVUS を挿入し、Pull back 後から IVUS カテーテルが病変にトラップされ、抜けなくなった。

#### 考えられる対処法

病変は Pre IVUS で石灰化の多い病変であった。

IVUS カテーテルが抜けないのは、ステントストラットとカテーテルが干渉していることが考えられる。病変の不十分開大の可能性もあるが、そうでなくても起こりうる。7Fr ガイドカテーテルを用いている場合には、もう 1 本病変に Wire をクロスし、バルーンでステント内を拡張するとストラットと IVUS カテーテルの位置関係が変わり抜ける可能性がある。今回の場合には、6 Fr であるので、内腔が 2 本のデバイスを挿入するには狭いため、やむなく大腿動脈から、もう 1 本シースを挿入しそこから別のガイドカテーテルを経てバルーンをデリバリーし、IVUS カテーテルを抜去可能となった。

その他、注意する点として IVUS カテーテルを抜去する際には、インナープローベを先端まで戻してから抜去することが大切である。

また、ガイドワイヤーを深く挿入し、ステント内でのワイヤー走行を変更することで抜去することが可能になる場合がある。

どうしても抜けない場合は、外科に連絡することになると考えられる。あせって無理矢理引き抜かないようにすることが肝要である。